

PRESTO® A40

6Lのガラス反応容器を +150℃から+20℃まで冷却運転

目的

このケーススタディのテストでは、PRESTO®A40と6Lのガラス反応容器を接続して、冷却試験を行っています。PRESTO®A40は2mのメタルチューブで接続されています。PRESTO®A40は、+150℃から+20℃への冷却運転を行っています。

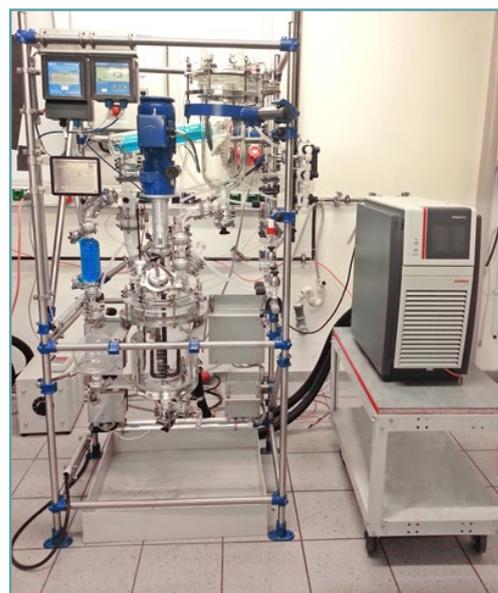


環境

室温	+20 °C
湿度	45 %
電源	230 V / 50 Hz

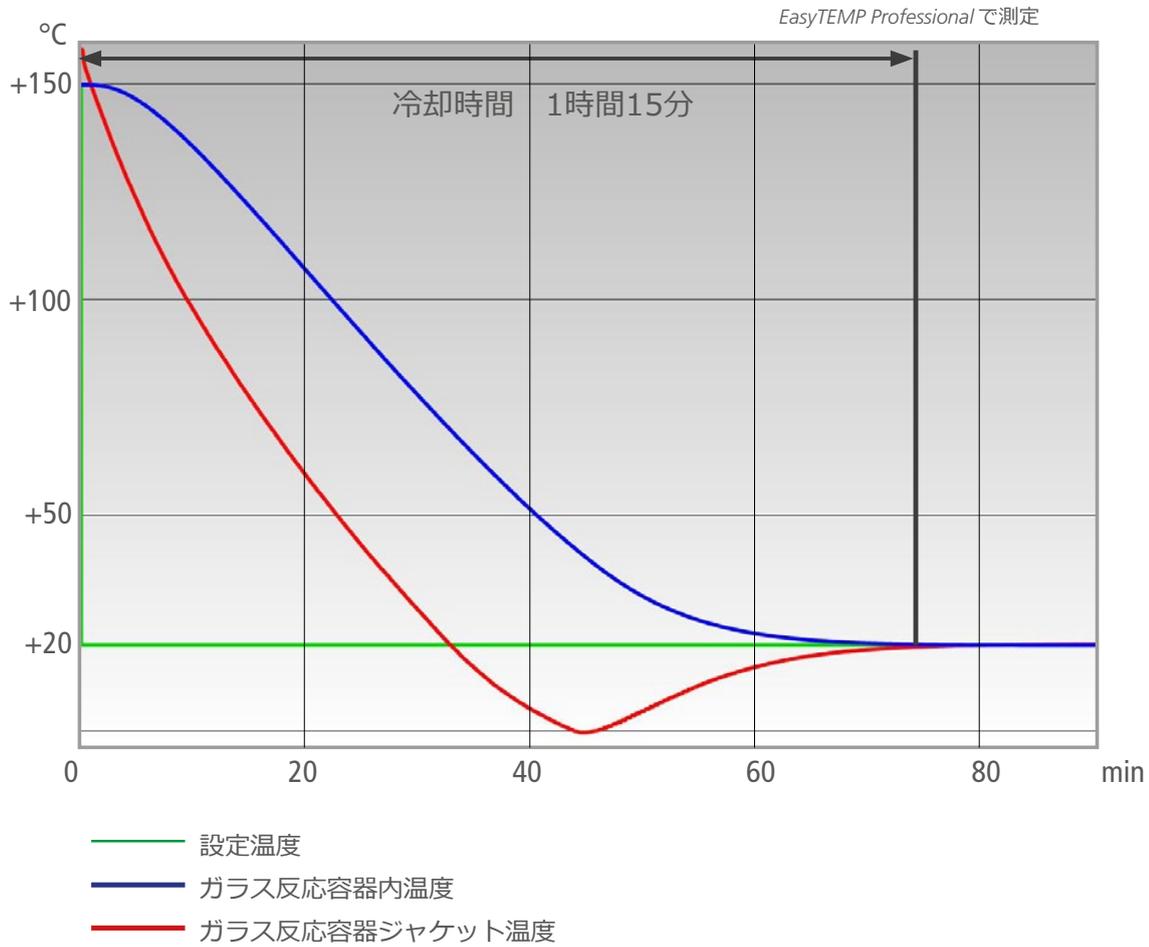
試験条件

使用機種	PRESTO® A40
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 0.9 kW -20 °C 0.6 kW
加熱能力	2.7 kW
バンドリミット	設定していません
ポンプ圧	0.5 bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL60
反応容器	6Lガラス製反応容器 (QVF) (容器内にはユラボ社製 サーマルHL60を 5L充填しています)
ジャケット容量	4.5 L
温度制御	外部制御(ICC)



試験結果

PRESTO® A40 の冷却運転では、+150℃から+20℃へ1時間15分でオーバーシュートなしで到達しました。



その他機能

M+Rインラインセンサーを組み込む事で、追加して温度を表示し記録することが可能です。



その他機能

耐久性のあるPt100 PTFEコーティングセンサーを使用出来ます。

